

ちばだい

プレス

千葉大学広報誌

特集 ～社会で活躍する卒業生の姿～

千葉大学 OBOG インタビュー

特集 大学祭レポート
2013 ～4キャンパスで
盛大に開催！～

vol. **26**
2013 DECEMBER



犬養俊輔 (いぬかい しゆんすけ)

1947年生まれ。千葉大学工学部印刷工学科卒。三晃印刷株式会社に10年間勤めた後、株式会社帆風(現 帆風)を設立。誠実であること、常にプロフェッショナルであることをモットーに、印刷業界で着実に実績を重ね、年商約88億円(平成25年1月期)の企業に育て上げた。

自ら印刷会社を起業し、印刷業界の負のイメージを打ち破ることに挑戦した犬養俊輔さん。千葉大学経済人倶楽部「絆」の初代会長でもあり、時には学内で講演し、学生と交流することも。常にプロフェッショナルであることを大切にしている犬養さんにお話を伺いました。

自分で決めたルールは守る！
常にプロフェッショナルを
目指してきました

株式会社帆風 取締役会長
千葉大学経済人倶楽部「絆」初代会長

犬養俊輔さん

日本に一つしかない
学科を選んだら「印刷」でした

——工学部印刷工学科を卒業して印刷会社に入社。その後、ご自身でも印刷会社を起業されていますが、もともと印刷に対して思い入れがあったのですか？

犬養 大学入試に際して、当時、日本に一つしかない学科を選ぼうとした結果が印刷でした。人と違うことがしてみたいという気持ちと、就職に有利だろうと考えたからです。

しかし、実際に入学してみると卓球に出会い、卓球一色の学生生活を送りました。それでも、卓球と学業のメリハリをつけて単位を落とすことはありませんでした。ただ、卓球にのめり込んだ分、就職活動が遅れて求人企業があまり残っておらず就職担当の先生に紹介されたのが印刷会社でした。

「誠実さ」を持って
印刷業界の常識を破る

——最初に勤めた印刷会社での思い出は？

犬養 技術者として入社したものの、「うちの技術課は大したことがない、営業のほうが可能性が開けるぞ」と言われ、営業の道に進むことに。働き始めて気がついたのですが、印刷とは価格と納期が勝負のすべてなんです。そんな中で、苦勞して仕事をとってきても現場に「今忙しいからできないよ」と言われてしまう。なんて業界に入ってしまったらどうと嘆きました。最初の5年間は文句を言わずに働こうと決めていました。

また、入社3年目に社内でも目立っていた私ともう1人の営業担当に「営業印刷部門を立ち上げて2人で2億稼ごなさい」という指示がありました。私は負けん気が強いほうですからもちろん2人で2億稼ぎましたが、翌年は倍の4億と言う。ならば部下を付けてほしいと頼み、会社を辞めるまで売り上げを伸ばし、最後には17億円にまでなりました。

——その後、会社を興されるわけですが、印刷業界で成功した理由はなんだと思いますか？

犬養 当時の印刷業界は、納期を守らない、約束ことを守らないなど仕事に対していい加減な姿勢の人間が多かった

ように思います。ならば、自分は品質を守る、納期を守る、

とにかく誠実に仕事をしようと思えました。さらに、見積もりの問い合わせをいただいたら2時間以内で回答するというルールを自分に課しました。携帯電話もない時代ですから、公衆電話を見つけては会社に電話して依頼があれば電話機の上で計算をして見積書を作成していました。

また、起業してからは印刷業界の3K(きつい、汚い、危険)のイメージを払拭すべく、新しい仕組み作りに取り組んだことも成長の一因だと思います。

大学生活の中で、じっくりと
自分の人生を見つめてほしい

——千葉大学経済人倶楽部「絆」の初代会長を務められた経緯と、同倶楽部の活動について教えてください。

犬養 私の人生観が築けたのは千葉大学に通った4年間のおかげです。その恩返しのためにも初代会長を引き受けましたが、ただの経済人の集まりではなく何か目的と個性を持った会にしたいと思いました。そこで取り組んだのが千葉市と協力した学生版のベンチャーカップです。費用的な支援だけでなく、人的支援も行い、私自身、千葉大学で起業について講演し、学生の皆さんと交流を持ちました。

——最後に、学生へのメッセージをお願いします。

犬養 千葉大学は自分の人生をゆつくりと考える時間を与えてくれる場所です。私がそうだったように、じっくりと自分の人生観を見つめてほしいと思います。また、もし起業を目指しているのであれば、泥臭くても一歩一歩自分のなすべきことに取り組んでください。あきらめない者が最後の勝利者になります。



都心にある印刷所・竹橋プリンティングセンター。最新鋭の印刷装置が並ぶ。



アナウンサーとして入社7年目を迎え、バラエティから報道まで活躍の場を広げている繁田美貴さん。アナウンサーを目指した動機や現在のお仕事のことはじめ、大学時代の思い出などについても語ってもらいました。

一歩一歩着実に！
アナウンサーとしての
可能性を広げたい
テレビ東京 アナウンサー

繁田 美貴さん

2度目の挑戦で アナウンサーの道へ

——アナウンサーを目指したきっかけは？ また、離職のアナウンサー試験を通った秘訣は何だと思えますか？

繁田 学生時代、リポーターの仕事をしたことがあって、それがすごく楽しかったんです。それで3年になって就職を考えたとき、アナウンサーはリポーターに似ているかもしれないと思い、アナウンサースクールに通いました。発音や発声などの基礎から原稿読み、フリートークなどの応用まで学びましたが、それも楽しくて向いているかもと(笑)。

3年秋に受けた採用試験では最終選考で不合格となりました。また来たんだねと言われていましたが、あきらめない姿勢とガッツを認めていただけたのかなと思います。

——お仕事で最も印象に残っているエピソードは？
繁田 今年(平成25年)の隅田川花火大会です。生放送で臨場感あふれる映像と音声をお届けする予定だったのですが、7時の花火の打ち上げ開始から30分後に雷雨で大会が中止に。番組は9時まで予定されていたので、経験したことのない状況の中で視聴者の方に最大限楽しんでもらう方法を考えました。前年のVTRを流したり、ゲストの方に花火の思い出話をお話していただいたりしました。また事前に、花火の形や大きさ、上がり方、作りなどを調べたり、花火師さんいろいろなとお聞きした情報が役に立ちました。この経験で、ピンチを切り抜ける度胸もついた気がします。

着実に経験を積んで 仕事の幅を広げたい

——仕事で心掛けていること、そして将来の目標は？

繁田 いつも仕事に自信を持って臨めるように、関連資料やゲストの方の著書に目を通したり、事前の準備をしっかり行うようになっています。予定していなかった話題が出たときも、動揺して表情が固くならないように経験を積んでいきたいです。

番組のテイストごとに、求められる「顔」は違うと思います。バラエティは私自身も楽しみなながら、報道番組では言葉遣いに気をつけ真摯に。今年(平成25年)4月から『田勢康弘の週刊ニュース新書』を担当するようになりました。私にとって新しいジャンルの報道番組ということもあり、硬くなりすぎないように本番直前に番組のアイドル猫「まーご」に「よろしくね」と声をかけ、適度にリラクセスして仕事に臨むようにしています。

私のモットーは、遠く目標を設けるより一歩一歩着実に進んでいくこと。まずはどんなジャンルでも安心して任せてもらえるようになりたいですね。

時間を有効に使って 今しかできないことを

——どんな大学生活を過ごしていましたか？

繁田 授業には人並みにきちんと出ていましたし、ダンスサークルでの活動、リポーターなどの仕事、ベビシッターのアルバイトなど、いろいろな経験を



テレビ東京本社前。壁面に描かれているのは開局50周年を機に誕生したテレビ東京の新キャラクター。

しました。何よりも大切にしてきたのは、友人と過ごす時間です。文学部棟5階にある研究室によく集まって、みんなで話をしました。当たり前の日常が楽しくて輝いていましたね。当時の友人たちとは今でも会っていますが、昔に戻ってリフレッシュできます。私以上に私のことを心配して話を聞いてくれるので、また頑張ろうと思えますね。

——最後に、学生へのメッセージをお願いします。
繁田 心理学を専攻したからといって、人の心が読めるわけではありません。でも、資料を読んだり、知識を自分の中に落とし込んだり、学ぶ姿勢は今の仕事にも生きています。専攻とは違う仕事に就いても、大学時代に学んだことや培ったことは、必ず役立つと思います。

学生の間は時間を有効に使って、勉強だけでなく、今しかできないことをしてください。友だちとよい関係を築けるのも学生のとときだと思いで、コミュニケーションも大切にしてほしいです。

第3回高齢社会を考えるシンポジウム 招待講演

けやき会館 13:45~14:30

田村大臣は冒頭、「今から30年前、千葉大学に初めて訪れたとき、受験番号が498番(よくはいる)だったことを今でも覚えています。それが、ついこの間の出来事のように感じますが、建物も入れ替わり時の流れを感じます」とユーモアを交えながらお話しいただき、テーマである超高齢社会における財政や社会保障の仕組みについて講演されました。

また、景気回復や経済成長に話が及ぶと「アベノミクス」が効果的であること。そして、「アベノミクス」は民主党政権時代、安倍総理との勉強会で生まれた言葉であり、田村大臣が名付け親であることなどお話しいただきました。



はじけ
千葉る

チャリーディングで会場全体がはじけた!

第51回千葉大祭
西千葉キャンパス
10/31(土)~11/3(日)

復活11周年 亥鼻祭
亥鼻キャンパス
11/2(土)~11/3(日)



-will-
11th anniversary



学生手作りの立体地形図



ストーリー仕立ての
ジャグリングパフォーマンス



各企画におじゃまして、はいチーズ!



力作の亥鼻祭ゲート!!

田村憲久厚生労働大臣が千葉大学に来訪 招待講演を行い、大学祭を視察!

西千葉
キャンパス
11/2(土)

11/2(土)、千葉大祭で盛り上がる西千葉キャンパスに、田村憲久厚生労働大臣が来訪され、けやき会館で行われた「第3回高齢社会を考えるシンポジウム」で招待講演を行いました。その後、田村大臣は千葉大祭を視察し、学生とも交流しました。

4キャンパスで盛大に 大学祭が行われる!

特集
大学祭
レポート

今年も秋が深まる中、千葉大学の4キャンパスで大学祭を開催。各学部の研究成果や特徴を生かした展示・発表をはじめ、B級グルメが並ぶ露店、日頃の練習の成果を発表するステージなど、多種多彩な企画で各キャンパスが彩られました。



学生時代に参加していたテニスサークルを訪問。「サークル「CATS」がまだ続いていたことにびっくり。僕らのときよりもメンバーがたくさんいて、うれしかったですね。」

田村大臣から千葉大生へのメッセージ



大学で勉強したことは将来、何の役に立つのかなというようにことでも必ず役に立ちます。ぜひともいろいろなことを吸収してください。学問もそうですし、学生生活を通していろいろな体験していただき、将来のために役立ててほしいと思います。それから、卒業してからもぜひとも千葉大学に足を向けてもらいたいと思います。



かつて学んだ法経学部では、清水ゼミと水島ゼミの展示を見学。「今の学生さんたちは僕たちより真面目だなと感じました。地域にとけ込んで街づくりを行うなどいろいろ実践していることも感心させられました。」



アカデミック・リンク・センターを見学。「図書館のイメージが全く変わりました。」



千葉大学で収穫された果物



第51回戸定祭
松戸キャンパス
11/10(土)~11/13(日)

千葉県キャラクター・ちーばくんも登場!



ファミリーで野菜収穫体験!

入り口では、野菜でできた宝船がお出迎え

おいしく楽しむ
千葉大学



センター祭2013
柏の葉キャンパス
11/3(日)

東日本大震災を契機に、地殻の変動や活断層といった言葉が一般的にも知られるようになり、また、そうしたメカニズムの解明は大きな社会的ニーズとなっています。これらを総合的に研究する学問が変動地形学です。宮内崇裕教授にお話を伺いました。



地学の魅力や面白さは、やはり発見に尽きると言えます。自分が「こうではないか」とあらかじめ予測していたことが、実際に現場の調査で確かめられたときには、充実感や達成感がありますね。
石村特任研究員

フィールドワークの大切さを日々感じながら研究をしています。藪をかき分けていくような場所で地質調査をすることもあります。そんな苦労の中だからこそ感じられる感動を学生には味わってほしいと思います。
金田准教授



地形学研究室で宮内教授と共同で研究を行っている金田平太郎准教授(中)と石村大輔特任研究員(左)



左 フィールドワークでは、地形の発達史を分析するためのボーリング調査や、正確な地形データを得るための測量などを行う
右 フィールドワーク後は、研究室で精密機器やコンピュータを用いて採取試料の分析や地形の解析・モデリングに取り組む

地形の成り立ちや地震のメカニズムをさまざまな観点から分析する

——地学分野の研究に進まれたきっかけは何だったのでしょうか。

子どもの頃から地形が好きだったというのが、やはり大きいと思います。私は群馬県の沼田盆地という場所の出身で、山の地形は自然と目にしていましたし、親戚の家が神奈川県にあって、山と海との地形の違いを面白いと感じていました。そういう意味では、地学に興味を持ちやすい環境が揃っていたと言えるかもしれませんね。地形の成り立ちを研究したいと思った直接のきっかけは、高校の地学の授業で見に行った河岸段丘に感動したことです。その後、私が大学2年のときに、マグニチュード7.2の宮城県沖地震が起きたことで、地震のメカニズムや地殻変動についても知りたいと思いい、変動地形学の研究をするようになりました。

——地形学の研究というのは、どのように行うのでしょうか。

研究の際に重要なのは、現場でのフィールドワークです。地形学の研究者は「観る・測る」とよく言いますが、自分の足で地形や地層を見に行くほか、ボーリング作業で地層を掘り起こして分析したり、測量によって地形を把握したり、とにかく「現場の学問」と言っていっていいでしょう。学生たちにも、机上だけで考えるのではなく、現場に行くことの大切さを教えるようにしています。また、古い地形の状態や大きな地震の記録を知るために古文書をひもといたり、そうして得た情報を解析して地形の成り立ちのシナリオを組み上げたりと、分析力や思考力を問われる学問でもあります。こうした努力の結果、新たな発見を見出したり、それまでわからなかった仕組みを解明したりできることが、地学の魅力だといえますね。

——具体的にはどのような研究をされているのでしょうか。

私が今取り組んでいるのは、岩手県にある三陸海岸の隆起沈降や、巨大地震サイクルの解明に向けての研究です。地形はどんなときに隆起、あるいは沈降するのか、現在は隆起傾向なのか、それとも沈降傾向なのかといったことについて、データを解析しながら探っていきます。東日本大震災以降、地震発生のメカニズムを解明することは地学上の重要なテーマとなっていますので、地震学や地質学など、さまざまな観点から、総合的に研究を進めていきたいと考えています。

また、東日本大震災に関連するところでは、原子力規制委員会が設置する有識者会議に選出されたことが挙げられます。私はこれまで、海岸の隆起沈降をもたらす地震性地殻変動や活断層についての研究を長く続けてきたので、そうしたテーマについて、マスコミからの取材を受けることもあります。自分の発言がメディアに乗ることには大きな責任も伴いますし、最初は戸惑いもありましたが、社会の役に立つことですから、科学的に自分が判断し、確信を持って言えることだけを発信していきたいと考えています。

——最後に、学生へのメッセージをお願いします。

学生生活というのは、社会に出るための準備期間と言えます。大学の中でも特に研究室というのは一種の共同生活で、いわば社会の縮図ですから、人間関係をはじめとするさまざまなルールを学び取ってもらいたいと思います。また、研究に関していえば、自分の目で見て自分の頭で考えるという姿勢、納得がいくなかで時間をかけて取り組む姿勢、そうした習慣をしっかりと身につけておけば、社会に出たときに役立つでしょう。研究には発見の感動や成し遂げたときの充実感がありますので、学生たちにはそうした感動を経験して巣立ってほしいですね。



宮内崇裕 (みやうち たかひろ)
千葉大学大学院理学研究科教授、東北大学理学部地学科卒。東京都立大学大学院理学研究科の博士課程修了。1989年から千葉大学で助手となり、2007年より現職。専門は変動地形学。2011年の東日本大震災に伴い、原子力規制委員会が設置する有識者会議に選出される。

西千葉、亥鼻、松戸の各キャンパスで盛大に行われた大学祭を齋藤学長が視察しました。学生が工夫を凝らした展示や企画を見学し、多くの学生と意見交換しました。

齋藤学長が「千葉大祭」「亥鼻祭」「戸定祭」を視察!

戸定祭 松戸キャンパス 11/1(金)午前

本郷谷松戸市長も訪れ、齋藤学長、木庭学部長とともにさまざまな展示を見学しました。園芸学部だけに、野菜や果物の展示もありました。



千葉大祭

西千葉キャンパス 11/1(金)午後

千葉大祭実行委員長の佐藤君の案内のもと、テント企画から屋内展示まで数多くのブースを見学。大勢の学生とも語り合いました。



亥鼻祭

亥鼻キャンパス
11/2(土)午前

お客様がまだ少ない朝、学生代表の案内のもと視察。からだの仕組みをテーマにした展示など医学部や看護学部ならではの企画が目立ちました。



QUIZ 亥鼻キャンパスにある「ヒポクラテスの木」とは何か?

▶ 答えはこのページ下の「もっと知りたい千葉大学」へ

第90回箱根駅伝予選会に出場

EVENT



千葉大学陸上部のメンバーと応援に駆け付けた学長ら

千葉大学陸上部は、10月19日に開催された第90回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会に出場しました。予選会への出場は11年連続です。今年の予選会では、総合記録が11時間28分19秒であり、今までの記録を約13分も上回る好記録となり、千葉大学の新記録を打ち立てました。また、順位は44校中36位でしたが、昨年の42位から36位へ、大幅に順位を上げました。主力へ成長しつつある下級生を軸にさらなる記録の更新を目指していきます。

教養展開科目「地域を知る・地域とかがわる」で熊谷俊人千葉市長が講義

EVENT

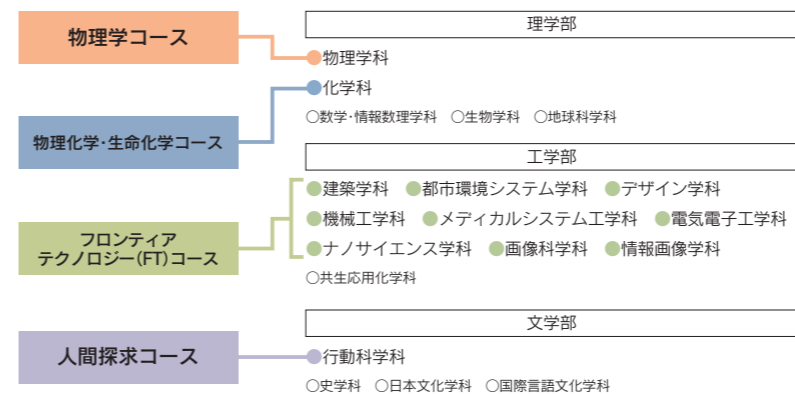


講義を行う熊谷千葉市長

10月11日、教養展開科目「地域を知る・地域とかがわる」で、熊谷俊人千葉市長を講師として招き、講義を行いました。本講義では、人口減少、少子・高齢化の流れや、自治会(町内会)、証明書発行など身近な例を取り上げながら、学生自身が自分達に関する問題を自らの責任において考え、解決していくことを目指す「自治」の重要性についてわかりやすい説明があり、学生たちは興味深く耳を傾けました。

秋飛び入学を国立大学で初めて実施

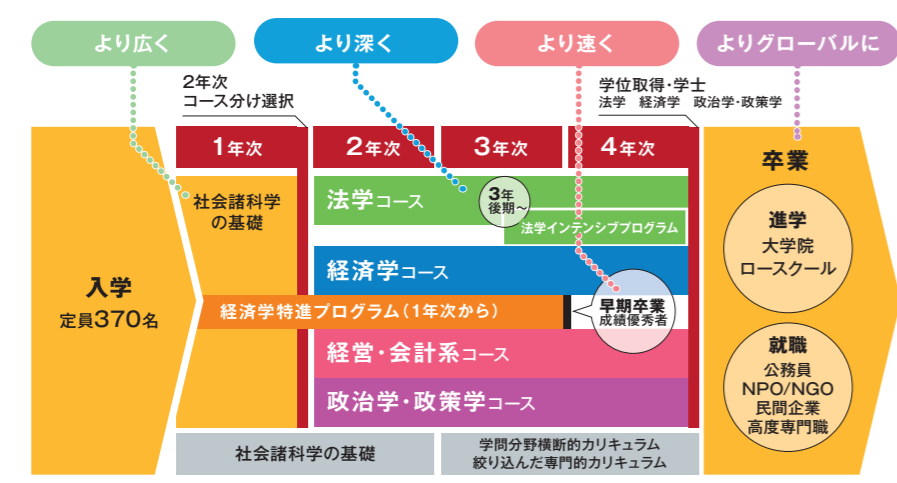
INFORMATION



千葉大学は、平成26年9月から先進科学プログラム(飛び入学)において、高校生を対象とした秋入学を国立大学で初めて実施することを決定しました。先進科学プログラムには、物理学コース、物理化学・生命化学コース、フロンティアテクノロジー(FT)コース、人間探求コースの4つのコースがあります。今回、従来の4月入学(春飛び入学)に加え、高校側の意見も十分に踏まえつつ、高校生の進路の決定時期の多様化に伴い、より多くの高校生に入学の機会を提供すること、並びにグローバル化の推進、国際競争力のより一層の強化を目的として、高校3年生を対象とした9月入学(秋飛び入学)を新たに導入します。

法経学部は「法政経学部」に生まれ変わります

INFORMATION



平成26年4月、法経学部は法政経学部生まれ変わります。法政経学部は、1学科4コース制を敷くことでコース制により専門性の深化を、コース間の横断的な履修で専門性の相互乗り入れを推し進めることになり、社会諸科学を総合的に身に付けることができます。法政経学部で学ぶことによって、法学部生とも経済学部生とも異なる社会科学の基礎学力を積み上げ、独特の高い教育水準が備わります。

ヒポクラテスの胸像と木に込められたOBの願い

もっと知りたい千葉大学



ヒポクラテスの胸像



ヒポクラテスのすずかけの木

「医学の祖」ヒポクラテスの胸像が医学部本館の階段に据えられています。これは、イタリアのウフィツィ美術館が例外的に複製を認めた五体の一体で、極めて貴重な像とされます。また、正門正面の庭内左側および附属病院の前庭には、ギリシャから届けられたヒポクラテスのすずかけの木が立っています。像も木もそはに由来の説明がありますが、これらは若き医学徒に「ヒポクラテスを鑑とし『医の倫理』を学んで欲しい」と願うOBから各々寄贈されたものです。(国際教育センター 見城悠治)

「コミュニティ再生・ケアセンター」開所式を実施

EVENT



開所式の様子

千葉大学は、文部科学省の地知の拠点整備事業に採択され、9月1日から事業を開始しました。「コミュニティ再生・ケアセンター」は、本学が立地する地域の課題に総合的に取り組む地域貢献するための企画・運営を行う目的で設置され、10月28日に開所式を行いました。今後は、同センターを中心にサテライトキャンパスを新設し、地方公共団体およびNPOとの連携の蓄積を継承・発展させ、地域のニーズと大学のシーズのマッチングを行い、地域への貢献・協力体制を強化します。

vol.26

I N D E X



02 特集 千葉大学OBOGインタビュー
会社創業者とテレビアナウンサーが登場!

06 特集 大学祭レポート2013
千葉大祭、亥鼻祭、戸定祭、センター祭を
開催!

08 研究室訪問
地形の成り立ちや地震のメカニズムを
さまざまな観点から分析する
—千葉大学大学院理学研究科地形学研究室—

10 TOPICS/もっと知りたい千葉大学

11 学長の部屋
齋藤学長が大学祭を視察しました!

